

科目名	柔整介護実践Ⅲ					
分野	その他の分野	担当教員	長島裕子, 若菜翔哉			
開講時期	2学年 3学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	30				2	
科目の概要	介護保険制度を理解するとともに, ADLや身体機能の評価方法, 機能改善, 能力改善の方法について理解を深める. また, 介護現場で多い疼痛対策に関する基礎知識を学修しつつ, 生活支援機器の使用方法についても理解を深める.					
学習の到達目標	機能訓練事業を理解し, 個々の対象者に合わせた生活支援と身体機能の評価, 改善方法を理解することができる.					
成績評価の方法と基準	筆記試験100%					
使用テキスト	成績評価の方法と基準					
参考文献						
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	介護保険制度について					若菜
2	ケアプランについて					若菜
3	ADL概念と評価方法					若菜
4	機能的自立度評価法(FIM)					若菜
5	復習(講義計画1～4の内容)【講義&演習】					若菜
6	ロコモティブシンドローム(座学)					長島
7	ロコモティブシンドローム(実技)					長島
8	介護の過程と介護者被介護者の気持ち					長島
9	高齢者介護とICF①					長島
10	高齢者介護とICF②(事例検討)					長島
11	歩行補助具について(実技)					長島
12	介護現場に多い疼痛対策について					長島
13	事例検討(評価・治療プログラム立案・実施)					長島
14	全体復習					長島
15	総合評価(まとめ):筆記試験					長島

(2026年度)